

阿智村教育委員会 平成 31 年 4 月定例会会議録

- 会議日時 平成 31 年 4 月 12 日(木) 午後 3 時 00 分
- 会議場所 阿智村保健センター 会議室
- 出席者 教育長：黒柳紀春 教育長職務代理：塚田紀昭
委員：原 彰彦 委員：熊谷 歩 委員：熊谷恒雄
【事務局】
教育次長：熊谷修一（全体進行）
公民館兼社会教育係長：川上 悟
子育て支援室長：島岡佐喜子 学校教育係：村田浩一
学校教育専門主事：羽生武彦、佐々木豊
児童家庭相談主事：佐々木栄子
（欠席者 保育園長：原 満 学校給食係長：石原哲成）

1 教育長あいさつ

4月2日に智里西保育園の開所式、11日に子育て世代包括支援センター「あちっ子プラザ」の開所式が挙行された。また、18日には全国学力学習状況調査が実施される。本年度の特徴は今までA問題、B問題と分けて出題されていたものが、統一されたこと。小学校においては国語、算数が各45分、児童質問紙が20分～40分間、中学校では国語、数学が各50分、英語の「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査が45分間、生徒質問紙が20分～45分間、英語の「話すこと」が5分程度となる。

ソサエティ5.0「超スマート社会」という言葉を遅ればせながら知った。社会が狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会と進展し、次世代が超スマート社会の到来というもの。2016年に閣議決定され、第5期科学技術基本計画の中で用いられている言葉である。社会が変われば学びが変わる。本年度から県教学指導課が「学びの改革支援課」と改名されたが、「学びの改革」というキーワードは「ソサエティ5.0」と連動している。この4月から高校教育課の主事が研修のため一年間経産省に出向しているが、ソサエティ5.0の研修を終えた全国の担当者が各県に戻り、様々な省庁や産業界と連携してこれからの時代や教育をどのように構築していくのか、具体的な展開が始まろうとしている。

2 協議事項

- (1) 阿智村の教育方針
 - ・教育長の説明

・確認

(2) 平成 31 年度教育委員会主要事業計画について

・教育長、教育次長、各係長より説明

(原委員)

I C Tの関係ですが、阿智村の従来の方針では最先端は目指さない、子どもたちが最低限遅れをとらない中で活用していくということではなかったか。

(教育長)

飯伊市町村教委連絡協議会では、14 市町村が歩調を合わせて I C T機器の活用を推進していくことが確認されており、私も就任以来定例教委で説明してきていることである。時代に対応して I C T機器の整備を効果的に進めてまいりたい。

(原委員)

先端に行く喬木村の状況はどうか。

(羽生専門主事)

遠隔地間合同授業に力を入れており、導入の一番の目的は第二小学校の小規模学級にある。実際見ているが、子供たちの視野拡大、積極性などに成果が出ていると感じる。

(原委員)

予算の無駄遣いは感じられないか。

(羽生専門主事)

当初、文科省の補助金を活用して始めた事業で、現在は補助金が切れて予算規模は縮小しているが、成果があったということで独自に予算をつけて継続している。無駄があったとは捉えていない。

(川上専門主事)

喬木は遠隔地の交換授業がメイン。導入した時点では判断ができない。ただし、あのモデルを阿智村にそのままもってくることは困難だと考えている。

(塚田委員)

阿智村でも繋げることはできると聞いていたが。

(川上専門主事)

積極的に行う予定はない。学校間で子どもたちが顔を見合うくらいが良いのでは。

(原委員)

阿智村にとって何が必要か考えながら進めてほしい。

(熊谷恒雄委員)

第三小学校がコミュニティスクールを止めた経緯とコミュニティスクールが全国型か信州型なのか教えてほしい。

(羽生専門主事)

初期には法律に基づいた形で実施していたが、その後信州型になり方向性を巡って混乱していたようだ。阿智村は 29 年の法改正に基づいた協議会規則

を制定し信州型に近い形で運営していく方向で、後程提案したい。

(熊谷恒雄委員)

そこがどちらかということをはっきりしないといけないと思う。第三小でどのような課題があったのか明らかにし、またそれを参考にすべきだと思う。

(塚田委員)

文部省の指定校で長野県にモデル校が2校あった。指定期間は2年間だったと思う。その後それを県指定に改めることはなかった。阿智村は第三小を村指定のコミュニティスクールで進めてきた。協育の会があり、それを有効に活用しながらコミュニティスクールを継続するということであり、今に至っている。先生方は異動するので明確にする必要がある。

(原委員)

阿智村人材バンク拡大版の作成についてはどのような意味があるのか。

(教育長)

昨年度の作成版は、各校の総合学習や地域学習に協力していただける人材の登録であったが、本年度はより広範な村全体の人材バンクとしたい。

(原委員)

阿智村だけでなく村外からの人材も検討してもらいたい。

(塚田委員)

育英基金はどのくらい残っているのか。また支給は給付型か貸与型か。

(教育長)

残金は8,000万円程度。後藤氏の強い希望で貸与型になる予定だ。

(熊谷恒雄委員)

どのような理由で待機児童がいるのか。

(子育て支援室長)

学童保育の基本は保護者の就労支援。阿智村の場合、放課後の子どもの居場所、遊び場所、友達と交流する場所という感覚をお持ちのご家庭が多い。就労のために本当に必要なケースとなると待機児童数は減る。放課後子ども教室のような施設が阿智にはないということで、放課後子ども教室がある市町村はそこが受け皿となっており、学童保育は本当に必要な家庭だけと区別されている。その点を説明し、周知と理解に努めている。

(塚田委員)

中間教室に来そうな子どもの人数はどのくらいか。

(子育て支援室長)

家庭から希望が出ている方が3人。学校からの報告だと5,6人はある。

(熊谷恒雄委員)

智里東保育園の改修、改築とあるが目標はあるのか。

(教育長)

まだ研究の段階。保育室が手狭であり、智里東公民館に設置している学童保育施設を保育園か第三小に併設できれば便利になると考えている。2、3年

のうちには目途をつけたい。

(熊谷恒雄委員)

実施を目標に研究ということで公表されてもいいか。

(教育長)

伍和保育園も老朽化しており改修、改築は必要であると考えており、研究していることとして公表されても問題はない。

(原委員)

社会体育と体育協会で総合型との連携も含めて研究してもらえればありがたい。

(塚田委員)

現在のチャレンジゆう Achi の状況を教えてほしい。

(社会教育・公民館係長)

4月から新たに事務局員が入り新体制になっている。

(塚田委員)

浪合の給食調理場については中学校統合の際に一緒にしたかったが、地区の要望と災害時の対策という面から残した経過がある。

・事業計画を承認

(3) 阿智村学校運営協議会規則について

・教育次長の説明

(熊谷恒雄委員)

信州型だと名称は学校運営委員会と表記していたと思うが、学校運営協議会に変更されたのか。

(羽生専門主事)

学校運営委員会は第三小学校がそのような呼び方をしていると認識している。法改正によって学校運営協議会と謳っている。信州型云々ということではない。

・承認

(4) 公民館関係役員の任命について

・社会教育・公民館係説明

・承認

(5) 後援申請について

・第6回親守詩長野県南信大会（親守詩長野県南信大会実行委員会）

・平安時代の音楽「はゞきぎ館雅楽コンサート」（雅楽愛好者衆「千里」）

・2件ともに承認

(6) その他

3 報告・連絡事項

(1) 各係より

・浪合保育園園庭の芝生化について（保育園係）

- ・駒つなぎの桜水張りの実施について（公民館係）
- ・令和元年度成人式について（公民館係）
- (2) 5月定例教育委員会の開催日について
 - ・5月16日（木）午後1時30分
- (3) その他
 - ・村内校長教頭歓送迎会について（学校教育係）

（閉会 午後4時30分）

教育委員 署名・捺印